



2024年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年3月12日

上場会社名 株式会社 柿安本店

上場取引所 東

コード番号 2294 URL <https://www.kakiyasuhonten.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 赤塚 保正

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 赤塚 義弘

TEL 0594-23-5500

四半期報告書提出予定日 2024年3月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年4月期第3四半期の連結業績(2023年5月1日～2024年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第3四半期	28,622		1,834		1,860		1,193	
2023年4月期第3四半期	26,767	1.1	1,764	12.9	1,815	9.1	1,158	2.9

(注) 包括利益 2024年4月期第3四半期 1,215百万円 (%) 2023年4月期第3四半期 1,139百万円 (3.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第3四半期	113.96	
2023年4月期第3四半期	110.67	

注) 当社グループは2023年4月期に決算期変更を行っており、2022年3月1日から2023年4月30日までの14ヵ月決算となっております。これに伴い、前第3四半期連結累計期間(2022年3月1日～2022年11月30日)と当第3四半期連結累計期間(2023年5月1日～2024年1月31日)は比較対象期間が異なるため、2024年4月期第3四半期の対前年同期比については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年4月期第3四半期	20,699	17,332	83.7
2023年4月期	21,725	17,007	78.3

(参考) 自己資本 2024年4月期第3四半期 17,332百万円 2023年4月期 17,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年4月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期		0.00		85.00	85.00
2024年4月期(予想)				85.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年4月期の連結業績予想(2023年5月1日～2024年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000		2,400		2,400		1,500		143.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年4月期(前期)は2022年3月1日から2023年4月30日までの14ヵ月の変則決算となっているため、対前期増減率は記載しておりません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年4月期3Q	12,446,700 株	2023年4月期	12,446,700 株
期末自己株式数	2024年4月期3Q	1,972,919 株	2023年4月期	1,972,691 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年4月期3Q	10,473,910 株	2023年4月期3Q	10,472,159 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは前期となる2023年4月期に決算期変更を行っており、2022年3月1日から2023年4月30日までの14ヵ月決算となっております。これに伴い、前第3四半期連結累計期間（2022年3月1日～2022年11月30日）と当第3四半期連結累計期間（2023年5月1日～2024年1月31日）は比較対象期間が異なるため、対前年同期比については記載しておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第5類への移行後は、インバウンド需要の回復等、経済活動や個人消費も持ち直し、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、原材料・エネルギー価格高騰の長期化に伴い、人件費や物流費も比例して上昇する等、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する食関連業界におきましても、原材料・エネルギー価格の高騰や人件費の上昇による影響は継続しており、当面厳しい状況は続くものと想定されます。

このような環境の中、当社グループでは、出店や改装による売上拡大を継続しました。また、繁忙期である年末年始商戦においては、限定商品を取り揃えたWEB予約サービスの展開や、年末感謝袋や新年の福袋を中心としたお値打ちな品を積極的に展開する等、お客様にとって価値ある商品の提供に努めました。

出退店・改装につきましては、12店の出店、10店の退店及び4店の改装を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は28,622百万円、営業利益は1,834百万円、経常利益は1,860百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,193百万円となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(a) 精肉事業

精肉事業につきましては、11月29日を中心とした「いい肉の日」企画を実施するとともに、年末感謝袋に様々な種類を用意し幅広い顧客獲得に努めました。また、桑名本社に構える「精肉本店」では、惣菜・和菓子事業との複合業態のモデル店舗を想定した全面改装に着手いたしました。

出退店につきましては、1店の出店及び2店の退店を行いました。

この結果、当事業の売上高は11,184百万円、セグメント利益は1,115百万円となりました。

(b) 惣菜事業

惣菜事業につきましては、クリスマス商戦では毎年好評頂いているチキンやオードブルに加え、いちごや牛タンを用いた高価格帯のサラダに挑戦する等、新たな商品にも取り組みました。また、年始においては人気の肉商品を堪能できる『新春 肉三昧セット』や高たんぱくな『干豆腐の豆乳担々風サラダ』等、魅力的な商品の展開を図りました。

出退店につきましては、2店の出店及び3店の退店を行いました。

この結果、当事業の売上高は10,073百万円、セグメント利益は919百万円となりました。

(c) 和菓子事業

和菓子事業につきましては、冬の人気商品『いちご大福』において、いちごミルクや生チョコレートによるアレンジ商品を販売し好評を得ました。また、人気アニメキャラクターとコラボした『どら焼』では、クリスマス限定パッケージによる展開を図りました。更に『水まんじゅう』では、冬バージョンとして新たに4種類のフレーバーをご用意する等、新しい取り組みも行いました。

出退店・改装につきましては、「口福堂 イオンタウン四日市泊店」「口福堂 洛北阪急スクエア店」等9店の出店、3店の退店及び4店の改装を行いました。

この結果、当事業の売上高は4,761百万円、セグメント利益は217百万円となりました。

(d) レストラン事業

レストラン事業につきましては、冬の期間限定商品として、フードコート業態ではコチュジャンを利かせた甘辛タレの『ヤンニョム唐揚定食』を展開しました。またグリル業態では冬に人気の『ビーフシチュー』に加え、新たに『牛タンシチュー』をご用意し、ハンバーグやステーキとのセットメニューも好評を頂きました。

退店につきましては、2店の退店を行いました。

この結果、当事業の売上高は1,149百万円、セグメント利益は56百万円となりました。

(e) 食品事業

食品事業につきましては、新商品『KAKIYASU PREMIUM』シリーズを従来商品の上位グレードとして発売しました。「牛ほほ肉」「牛テール」「極厚ポーク」「骨付きチキン」の4種類をご用意し、それぞれ上質なお肉とこだわりのカレールーで仕上げしており、手軽にワンランク上の贅沢をご家庭で堪能できるものとなっております。

この結果、当事業の売上高は1,452百万円、セグメント利益は205百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,026百万円減少し、20,699百万円となりました。

流動資産は1,174百万円減少し、14,006百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少1,695百万円と売掛金の増加545百万円等であります。

固定資産は147百万円増加し、6,692百万円となりました。主な要因は、工具、器具及び備品の増加140百万円及び建物及び構築物の増加111百万円と繰延税金資産の減少159百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,351百万円減少し、3,366百万円となりました。

流動負債は1,360百万円減少し、2,901百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少842百万円及び支払手形及び買掛金の減少210百万円等であります。

固定負債は9百万円増加し、464百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債の増加6百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ325百万円増加し、17,332百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,193百万円の計上による増加と剰余金の配当による減少890百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年12月12日に発表いたしました「2024年4月期第2四半期の業績予想と実績値との差異及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しております予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,345	9,650
売掛金	2,824	3,369
商品及び製品	398	387
仕掛品	422	295
原材料及び貯蔵品	167	170
その他	21	132
流動資産合計	15,180	14,006
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,107	2,219
土地	2,153	2,119
その他(純額)	615	821
有形固定資産合計	4,877	5,160
無形固定資産	188	194
投資その他の資産		
投資有価証券	131	186
繰延税金資産	298	138
差入保証金	614	597
退職給付に係る資産	243	224
その他	192	190
投資その他の資産合計	1,479	1,338
固定資産合計	6,545	6,692
資産合計	21,725	20,699
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,273	1,062
未払金	489	472
未払法人税等	842	—
契約負債	8	15
未払費用	945	876
賞与引当金	331	166
役員賞与引当金	15	11
その他	354	295
流動負債合計	4,262	2,901
固定負債		
資産除去債務	388	387
その他	66	77
固定負債合計	455	464
負債合計	4,718	3,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,269	1,269
資本剰余金	1,080	1,080
利益剰余金	18,117	18,420
自己株式	△3,531	△3,531
株主資本合計	16,935	17,238
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7	32
退職給付に係る調整累計額	80	61
その他の包括利益累計額合計	72	94
純資産合計	17,007	17,332
負債純資産合計	21,725	20,699

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)
売上高	26,767	28,622
売上原価	12,442	13,308
売上総利益	14,325	15,313
販売費及び一般管理費	12,560	13,478
営業利益	1,764	1,834
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	4
受取給付金	30	—
その他	19	22
営業外収益合計	51	26
営業外費用		
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	1,815	1,860
特別利益		
固定資産売却益	—	23
特別利益合計	—	23
特別損失		
固定資産除売却損	6	31
減損損失	5	2
店舗閉鎖損失	0	—
その他	0	—
特別損失合計	13	33
税金等調整前四半期純利益	1,802	1,851
法人税、住民税及び事業税	645	497
法人税等調整額	△1	160
法人税等合計	643	657
四半期純利益	1,158	1,193
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,158	1,193

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)
四半期純利益	1,158	1,193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	40
退職給付に係る調整額	△22	△18
その他の包括利益合計	△19	21
四半期包括利益	1,139	1,215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,139	1,215

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	精肉事業	惣菜事業	和菓子 事業	レストラン 事業	食品事業	計				
売上高										
顧客との契約か ら生じる収益	10,578	9,140	4,558	1,156	1,334	26,767	—	26,767	—	26,767
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	10,578	9,140	4,558	1,156	1,334	26,767	—	26,767	—	26,767
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,473	9	22	2	808	2,316	—	2,316	△2,316	—
計	12,051	9,149	4,581	1,158	2,142	29,084	—	29,084	△2,316	26,767
セグメント利益	933	817	455	1	213	2,420	—	2,420	△655	1,764

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、全社催事等であります。
2. セグメント利益の調整額△655百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△684百万円及びその他調整額29百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「和菓子事業」、「惣菜事業」において、店舗設備に伴う減損損失をそれぞれ3百万円、2百万円計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、5百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	精肉事業	惣菜事業	和菓子 事業	レストラン 事業	食品事業	計				
売上高										
顧客との契約か ら生じる収益	11,184	10,073	4,761	1,149	1,452	28,622	—	28,622	—	28,622
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	11,184	10,073	4,761	1,149	1,452	28,622	—	28,622	—	28,622
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,504	0	27	4	926	2,463	—	2,463	△2,463	—
計	12,688	10,074	4,789	1,154	2,378	31,085	—	31,085	△2,463	28,622
セグメント利益	1,115	919	217	56	205	2,514	—	2,514	△679	1,834

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、全社催事等であります。

2. セグメント利益の調整額△679百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△705百万円及びその他調整額26百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「和菓子事業」において、店舗設備に伴う減損損失を2百万円計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、2百万円であります。